

Concept

「働き方をデザインする住まい」

働く場所の選択

都市部と同じアウトプットが可能な環境を整備することにより、個々にあった働く場所の選択が可能となり都市部と地方の人材循環につながります。この施設内でも住宅内、テラス、シェアオフィスが選択できます。

働く質の向上

職住近接による通勤時間の短縮、ストレスの軽減など、個々の能力がより発揮され生産性向上につながります。周辺の豊かな自然を感じたり、多世代、他業種間の交流を通じて、仕事の幅や考え方が広がります。

働いていない時間の充実

職住ともに広く開放的な空間、周辺の豊かな自然、子育て環境や人間関係の充実、DIYなどの趣味によって働いていない時間が充実し、生産性向上と豊かな生活につながります。

Keyword

企業 × 地域交流

リモート対応住宅の周辺には地域交流拠点が複数あり、体験型研修施設・コワーキングなども豊富です。施設内シェアオフィスやデッキテラスを使用した地域住民も参加する各種イベントを予定しており地域と企業がつながるコミュニティを活用して、交流を深めることが可能となっています。

企業 × 企業交流

リモート対応住宅は複数の企業の短期～長期の滞在を想定しています。デッキテラス、シェアオフィス、会議室など共有スペースも充実しており、仕事での交流はもちろん、さまざまな生活のシーンにおいて自然に多世代、異業種間の交流が生まれます。

三好市 × 民間企業（官民連携）

三好市は民間企業と連携し、さまざまなプロジェクトを進め、地方創生に取り組んでいます。リモート対応住宅もその一環で、都市部企業の人材を迎え入れ、企業の活性化+地域の活性化に期待しています。今後も企業との新たな出会い、進行中のプロジェクトの拡大、新プロジェクトの創出を予定しています。



三好市地方創生推進課

〒778-8501 徳島県三好市池田町シンマチ 1500 番地 2

三好市人材循環促進住宅

コンセプトブック



新型コロナウイルスの影響により余儀なくされる生活様式の変容によって、住む場所や働く場所の価値観が変化しています。都市部企業向けのリモートワーク対応住宅では、都市部企業の短期～長期滞在と将来的な移住へつながる拠点施設としての機能を想定し、都市部人材の地方への分散やリモートワークという新しい働き方への柔軟な対応はもちろん施設内での企業間交流から、さらには地域住民との交流や地方貢献を希望する人材確保へと発展し、企業の活性化、地域の活性化につながることを期待しています。



各住戸のアプローチと玄関を敷地外側に設けて、居室とそれにつながるデッキテラスを敷地内側に配置し、生活の向き（LDやワークスペース）を敷地中央へ向けてデッキテラスでつなげることで、自然と交流が生まれやすい計画としました。



雨除けや日射調整などに有効な軒の深さを確保するために屋根をトラス構造とし、あらわしとしてみせています。これは全住戸共通のアイコンとなっており、屋内外の連続性を感じさせ、デッキテラスと室内の距離を縮めています。あらわしとした天井にもしっかりと断熱材（グラスウール 24K 200）が入っているため、冷暖房効率も問題ありません。

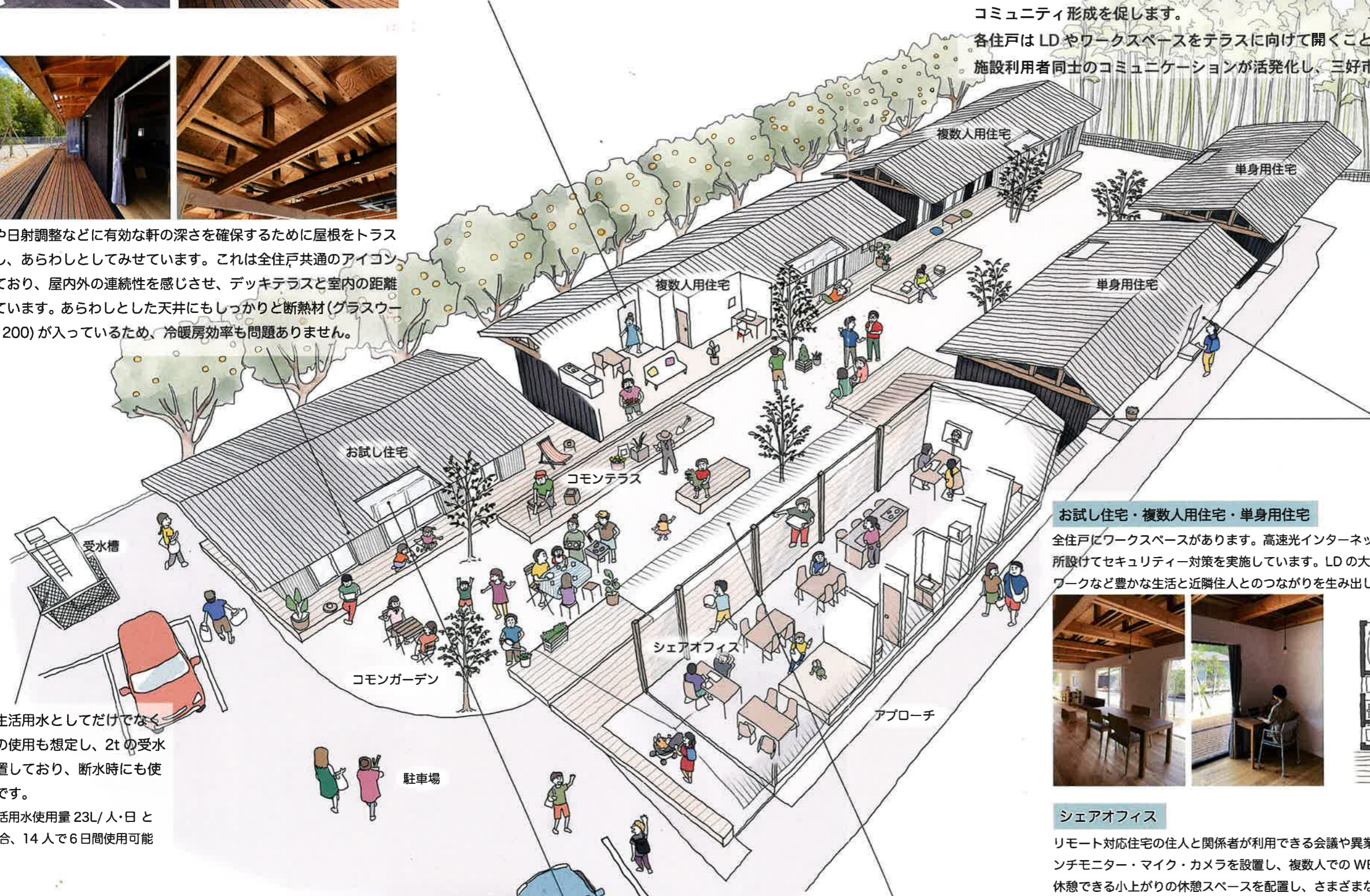
南北方向に屋根の軒ラインをそろえることで一体感を演出し、施設利用者が文字通り「ひとつ屋根の下」で生活をおくる共同意識が生まれやすい環境となっています。

街からシェアオフィスやコモンガーデン、コモンテラスから長屋、各住戸へとパブリックからプライベートへグラデーションにつながっていく生活環境を創り出します。マンションやアパートのような集合住宅ではなく、「ひとつ屋根の下」の独立した各住戸が2戸で1つの建物（長屋）としてつながり、さらにテラスとガーデン、シェアオフィスを全体で共有することで、適度な距離感を意識したコミュニケーションが可能となり、自然なコミュニティ形成を促します。

各住戸はLDやワークスペースをテラスに向けて開くことで、テラスやガーデンに生活（仕事）の一部が拡張し、施設利用者同士のコミュニケーションが活発化し、三好市の豊かな自然との一体的な生活が可能です。



2戸1棟の建物の外壁色を各住戸ごとに分ける（ブラック、シルバー）ことにより、つながりながらも各戸の独立した住まいとなっています。各住戸を隔てる壁は、一般的な遮音性能以上の性能があります。

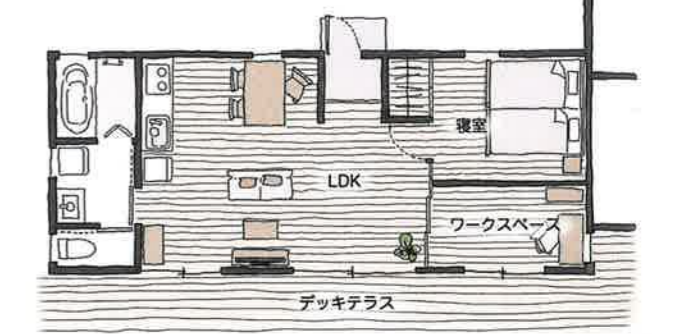


日常生活用水としてだけでなく、災害時の使用も想定し、2tの受水槽を設置しており、断水時にも使用可能です。

(例) 生活用水使用量 23L/人・日とした場合、14人で6日間使用可能

お試し住宅・複数人用住宅・単身用住宅

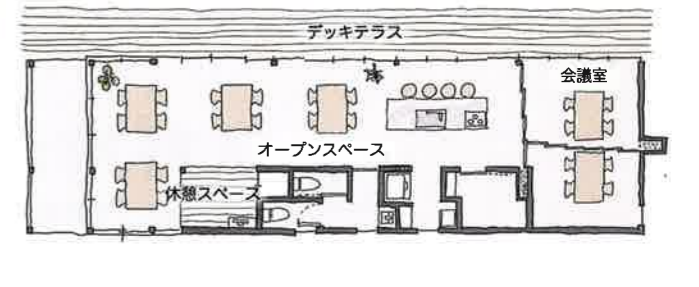
全住戸にワークスペースがあります。高速光インターネットを引き込み、無線LAN設備はもちろん、有線LAN設備を3箇所設けてセキュリティー対策を実施しています。LDの大開口からデッキテラスへ気軽に出入れることで、DIY・BBQ・青空ワークなど豊かな生活と近隣住人とのつながりを生み出します。



※間取り一例

シェアオフィス

リモート対応住宅の住人と関係者が利用できる会議や異業種間交流の場所です。閉じられる会議室にはWEB会議用32インチモニター・マイク・カメラを設置し、複数人でのWEB会議にも対応しています。他にも子供を遊ばせたり、腰掛けて休憩できる小上がりの休憩スペースを配置し、さまざまな業種・環境の方が集まることができます。



利用者が都市部から地方へくることが意識し、三好市州津地区周辺の景観にあわせて、切妻屋根（ガルバリウム）と外壁（焼杉とガルバリウム）を採用しています。



屋根の一部をポリカーボネート仕上げとし、デッキテラスで作業をしたり、くつろいだりする際に適度な日差しが差し込みます。連なる屋根の意匠的なアクセントにもなっています。



雨樋の代わりに地面に透水管を埋設し、軒を深くすることで、軒先から落ちる雨の美しさと軒ラインの美しさを感じられるよう工夫しています。